

米穀法案外二件特別委員會議事速記録第五號

大正十年三月二十三日(水曜日)午後一時三十八分
開會

○委員長(伯爵奧平昌恭君) 是ヨリ昨日ニ引續キマシテ會議ヲ開キマス、昨日ヲ以テマシテ需給調節特別會計法案ニ付キマシテ、御質問ハ終ツタモノト認メテ宜シウゴザイマスガ、若シ御質問ガナケレバ先キニ進ミタイト思ヒマス

(異議ナシト呼フ者アリ)

○委員長(伯爵奧平昌恭君) 然ラバ罹災救助基金法中改正法律案、之ニ入リマス

○上山滿之進君 私ハ此間本會議ノ席上ニ於テ罹災救助基金法中ヲ御改正ニナル御趣意ヲ御尋ネシタシテアリマスガ、殆ド御答辯ハ得ナカッタノデアアル、今此點ヲ伺ヒタイ、私ノ伺ヒマスノハ此罹災基金法中改正法律案ハ此度ノ食糧政策ノ一部分トシテ御提出ニナツタト云フ事ハ是ハ問題ノナイコトデアリマス、食糧政策ノ見地カラ何故此罹災救助基金法ヲ改正シナケレバナラスカ、斯ノ如ク改正シタ結果ハ私ノ見ル所デハ却テ食糧政策ヲ妨グルヤウニナリハシナイカト云フ懸念ナンデス、第一伺ヒマスノハ此罹災救助基金法ニ依ツテ、罹災救助基金ヲ利用シテ、買フ米及ビ此賣出シハ政府ノ食糧政策トドウ云フ連絡ヲ取ルノデアリマスガ、即チ政府ノ計畫ニ從ツテ俗ニ言ハバ政府ノ手傳ヒノ意味デスルノデアリマスガ、或ハ政府ノ政策ニ獨立ラシテ府縣デ自由ニ此米ヲ買ヒ、或ハ賣ルト云フコトニナリマスガ、其點ガ明デナイ、若シ政府ノ手傳ヒデスルト云フ第一ノ方ノ意味デアルト致シマス、政府ハ二億圓ノ多額ノ資金ヲ擁シテ食糧政策ヲ行ハウトスルノデアリマスガ、ソレヘ其總額ハ六千万圓バカリデアリマスカラ、現金ハ其中デ三百何十万圓シカナイ、罹災救助基金ノコンナ貧弱ノ金ヲ以テ二億ノ手傳ヒヲサス道理ガ分ラヌ、ソナコトハ強ヒテセメデモ宜イデヤナイカ、是モ弊害ガナケレバ宜シウゴザイマスガ、私ノ見ル所ニ依リマス、政府ノ食糧政策ノ手傳ヒヲサス爲ニ、罹

災救助基金ヲ各府縣ラシテ使ハセルト云フコトニナリマス、餘程仕事ガ混雜シテ來ル、ソナナ混雜ヲ忍ンデ三百何十万圓ノ手傳ヒヲサスト云フ道理ガ分ラヌ、若シモ政府ノ食糧政策ト聯絡ハナイ、府縣ハ自由ニヤルノデアアルト云フコトニナリマス、是ハ甚シキ弊害ヲ來シハセスカ、申スマデモナイ、常平倉制度ヲ立テ、食糧政策ヲ解決スルト云フコトハ、普通ノ經濟法ニ反シタコトデアアル、人爲ヲ以テ價格ヲ左右シヤウ、需給ヲ調節シヤウト云フノデアリマス、經濟政策ニ反シテ居リマス、ソレニ反シテモ何ゼ之ニスルカト云フト我々ノ日用ノ食糧品ノ安定ヲ得ヤウト云フノデアリマスカラ、此需給ノ方法ハ日本國ノ一ツノ所カラ、シテ往カナケレバナラス、方々デソナ勝手ノ事ヲヤラレテハ全ク統一ガナクナル、ソレガ爲ニ各種ノ困難ガ生ジテ來ルト云フ事ニナル、中央ノ所デスルノデサヘモ、ナカレ、此委員會ヲシテ米ノ買入レ、賣出シノ時期、數量、價格ヲ決定サレルニハ、少カラザル困難ノアル事ハ、前ニ私ノ申シタ所デアリ、政府デモ御承認ニナツテ居ル所デアリマス、是ハ中央一所デスベキ事デアアル、各府縣デサスト云フノデハ、其混雜ハ名狀スベカラザル所ガアルト考ヘラレル、尙ホ地方ニナリマス、ドウシテモ農家ガ多

イ、府縣會議員ニシテモ、大多數ハ農家デアリマス、サウスルト米ノ廉イ時買ツテ吳レイト云フ事ハ、痛切ニ唱ヘラレルノデアアルガ、折角貯ヘテ居ル米ヲ米ノ高クナツタ時ニ賣ツテ吳レイト云フ事ハ、府縣會ヲ通過シナイ、參事會ノ委任事項トシマシタ所デ、參事會モ同様ノ人々ヲ以テ組織サレテ居ル、皆ガ惡イ考ヲ有ツテスルノデアリマセスケレドモ、各々ノ利害ノ關係カラシテ、惡イ考ガナクテモ、自然ニ斯ウ云フ頭ニ傾イテ來ル、買フ時ハ思切ツテ買フガ、賣ル時ハ賣ラスト云フ現象ヲ起ス事ハ、殆ンド多ク説明ヲ要セス程明瞭ノ事ト思フノデアリマス、斯ウ云フ風ニ考ヘラレルノデアリマスガ、ドウ云フ政府ハ御考デゴザイマセウカ、即チ第一ニ是ハ中央ノ食糧政策ノ手傳

ヒヲサセルト云フ意味デ、中央ノ政策ニ從ツテ、農商務大臣ノ命令ヲ奉ジテ、府縣知事ガスルト云フベキ仕事ニナルノデアリマスガ、中央ノ仕事ト全然認メテ、府縣ト府縣デ、自分ノ思フ通りニスル、斯ウ云フコトニナルノデアリマスガ、其點ヲ伺ヒマス

○政府委員(村上隆吉君) 御答申上デマス、既ニ他ノ機會ニ於テ申上ゲタコトト思ヒマスガ、此米穀法ヲ實施イタシマスニ付キマシテハ、能ク地方長官ト聯絡モ取り、或ハ農會、或ハ産業組合ノ決議ヲ利用シマシテ、各府縣ニ涉ツテ、能ク其需給調節ノ按排ヲ圖ツテ、買入レルニ致シマシテモ、賣渡スニ致シマシテモ、致シタイト思ツテ居ルノデアリマス、米穀法ノミヲ實施スル上ニ於テモ、其通りデアリマス、又幸ニ或ル府縣ニ於キマシテ此備荒ノ基金ヲ以テ米穀ヲ買入レルト云フヤウナコトガ出來ル場合ニ、無論中央政府ノ米穀法ノ實施ニ關スル事ト相俟ツテ、其間ノ鹽梅ヲ致シマスコトニ付キマシテハ何等遺憾ヲ感ズルコトハナカラウト認メテ居ルノデアリマス、區々ニナツテ思フ通りニ政府モ或場所ニ買付ケニ行ク、其縣デモ買付ケル、政府ト府縣ト競争シテ買入レルト云フ間違ハ万々起リ得ナイト御承知置キヲ願ヒマス、ソレカラ其根本ノ問題ハ詰リ此備荒儲蓄ト云フモノハ逆ツテ考ヘテ見マスレバ、矢張り一番大事ナ米穀ノヤウナモノヲソレ、貯藏シテ、寧ロ備荒儲蓄ノ起リデモアッタラウト思ヒマス、今日ハ御承知ノ通りニ交通其ノ他ノ便宜上カラ考ヘテ、必ズシモ基金ヲ備ヘル外ニ米穀ヲ置カナケレバナラスト云フ事モナイ關係カラ、御承知ノ通りニ國債ト云フ様ナモノヲ主トシテ基金ニ充當スルコトニナツテ居リマスケレドモ、併ナガラ元ノ性質カラ考ヘ、又此食糧政策ノ上カラ考ヘマシテモ、矢張り此基金ヲ以テ米穀ヲ買入レシムル途ヲ開イテ置クト云フコトハ寧ロ當然ノコトデナカラウカ、云フノデ此度ノ米穀法ノ制定ト共ニ基金法ノ十七條モ改正イタシマシタト云フ譯デアリマス、併シ勿論デアリマス如ク現在ニ於キマシテハ、

其之ニ充當スルコトノ出來マスル金額モ極メテ僅カ
ノコトデアリマス、現金トシテ唯三百萬圓カ上ッテ居
リマス、クレドモ、其三百萬圓ノ幾分シカ之ニ充當ス
ルコトハ出來ナイノハ明瞭デアリマス、之ヲ以テ現
在ノ政策ノ上ニ於テ大ナル效果ガアルト云フヤウニ
ハ考ヘテ居リマセヌ、唯此途ヲ開イテ置クト云フダ
ケニ過ギナイノデアリマス、併ナガラ假令幾分ナリ
ト或時或場合ニ於テ之ニ依ッテ米穀ノ買入ヲ爲ス事
ガ出來ルト云フ事ガアツタトスレバ、假令程度ガ少ナ
イニシテモソレダケハ恰モ米穀法ニ於ケル同ジ效
果ヲ齎スコトト思ッテ居リマス、併シ大ニ其處ニ期待
シテ是ハ米穀法ノ實施ノ上ニ於テ大ナル働キヲ起ス
ヤウナ考ヲ以テ、此改正案ヲ提出シタ譯デアリマセ
ヌ、唯此機會ニ於テ途ヲ開クト云フニ過ギナイノデ
アリマス

○上山滿之進君 御話ノ通りニ現在ノ現金ダケデハ
殆ド其效果ハ言フニ足ラヌモト思フ、從ッテ弊害モ
ナイトハ思フノデアリマス、併シ之ヲ改正
ニナル以上ハ、將來ニ於テハ相當ナル效果ガ此基金
ノ許ス限リニ於テ其效果ヲ上ゲルコトヲ期待シテ居
ラレルノデアラウト思フ、ソレデ其意味ニ於テ御尋
ネヲ致シマシタ、先刻御尋ネ致シマシタ通り是ハ第
一中央ノ食糧政策ノ代理ト云フヤウナ意味デ御ヤラ
セニナルノデアリマス、或ハ中央ノ食糧政策ト離
レテ府縣ノ自治事務トシテ御ヤラセニナルト云フ御
考デアリマス、其點ヲハッキリ伺ヒマス

○政府委員(田中隆三君) 御答イタシマスガ是ハ全
ク府縣ノ事務デゴザイマシテ、中央ノ政策トシテヤ
ラセルト云フ考ハアリマセヌ、併シ實際ソレヲ運用
イタシマス場合ニ於テ、先刻申上ゲマシタ通り、地方
ト中央ノ政策ガ區々ニナッテ、同ジ所ニ行ッテ衝突ヲ
來スコトノナイヤウニ致シマス

○上山滿之進君 サウナリマス、更ニ伺ハナケレバ
ナリマセヌガ、米ノ買入ノ如キハ同ジ所ニ行ッテカチ
合ッテ糶上ゲルト云フコトノナイヤウニスルト云フ
今御話デアリマスガ、是ハモウ其通りデアラウト思
フ、私ノ申スノハサウデナクシテ中央デハ一定ノ食
糧政策ガ立ツ、是カラ先キハ此米穀法ニ依ッテ中央デ

ハ一定ノ政策ガ立ッテ、其政策ハ全國ニ互ッテ政策デ
アル、其傍ラ三府四十三縣ハ自分ノ思ヒニ或ハ
買フトカ賣ルトカスルト云フコトノ行ハレルト云フ
コトガ、此中央ノ全國ニ互ル所ノ食糧政策ノ實施ヲ
妨ゲルコトニナルノデハナイカ、サウ云フ結果ガ起
リハシナイカト云フコトヲ私ハ心配スルノデアリマ
ス、打合セラヌルト云フ御話デアリマスガ、是モサウ
デアラウト思ヒマスガ、内務大臣ハ大藏大臣ハ地方
ニ對シテ相當ナ命令ヲ發スルコトモ出來ルト思ヒマ
スガ、是モ思フヤウニ行ハレテ居ナイ、農商務大臣ニ
ハ特別ニサウ云フ權限ハ私ハナイ様ニ思フ、内務大
臣ハ監督官長トシテ必要ナ命令ヲ發スル事ハ出來マ
スガ、農商務大臣ハサウ云フ權限ハナイ、ソコデ今米
ヲ……中央デハ食糧政策デ今米ヲ買ハウトシテ居ル
時、府縣ハ厭ダト云フ時ハ、之ヲ強テヤラセルト云フ
方法ハナイ、買フ方ハ併シ地方ノ事情トシテ先刻申
上ゲマシタ通り農家ガ多イノデアリマス、或ハ中央
ノ食糧政策ヨリハ先達テソレヨリ先ヲ越シテ地方デ
ハ買入レルカモ知レヌ、未ダ高イカラ買フトスル時
ハナカ……賣ルモノデナイ、ソレハ内務大臣ハ如何
トモスルコトハ出來ヌ、主務省ト打合セラ致シマシ
テモ、ソレハドウスルコトモ出來ナイ、第一權限ノ點
ニ於テ甚ダ中央ト地方トノ聯絡ヲ得ルコトハムツカ
シイ、權限ガアツテモナカ……イカナイ、前年米ヲ賣
出シラサセヤウトシタ時、地方デハ自分ノ府縣ダケ
ニ使フ爲メノ米ヲ賣出シタ盛ンニヤツタガ、之ヲシテ自
由ニ縣外輸出ヲサセヤウト餘程農商務省ハ努メタノ
デアリマスガ、矢張りドウシテモイカナイ、權限ガ
アツテ取扱ッテモムツカシイ、況ヤ權限ノナイ農商務
省デハ殆ド見込ガナイ、サウシマス政府ノ食糧政
策ガ三府四十三縣ノ自由ナル行動ノ爲ニ支障ヲ受ケ
ルト云フコトニナル虞レガアル、モット具體的ニ申上
ゲマスルト三百萬石買入レル、此三百萬石ハ中央ノ
政策デアアル、所ガ地方デ自由勝手ニ買フト云フコト
ニナルト、ドウ云フ風ニナルノデアリマス、是ハ買フ
バカリデアリマス、カマダ宜イガ、儲テ賣ラナケレ
バナラヌト云フトキニ當ッテ、三百萬石ト云フコトノ
計畫ヲ御立ニナタ時ニドウ云フコトニナルノデア

リマス、カ、地方デ賣出スト云フコトヲ見越セバ三百
萬石ハ減サナケレバナラヌ、賣出サストシテ見ルト
其三百萬石以上ニ賣出シラ地方デモシナケレバナラ
ヌ、サウ云フ風ニナッテ、地方ト中央ノ計畫ガ衝突ヲ
生ズルト私ハ思フ、此法律改正ニナレバ永久ニ此法
律ハ行ハレルノデアルカラ、改正ニナル以上ハ效果
ガ相應ニ現ハレルコトヲ期待シテ御ヤリニナルコト
ハ明カデアリマス、私ノ言フ通りニ中央食糧政策ト
地方ノ自治事務トノ間ニ聯絡ガ取レナイト云フコト
ニナルヤウニ思フノデアリマス、此邊ハドウ云フ風
ニ御考ヘデアリマス

○政府委員(田中隆三君) 御答申シマス、先程申上
ゲマシタ通り、事實ニ於テ平素カラ地方ト中央トノ
聯絡ヲ取ッテ居リマス、サウ云フ御心配ニナル様
ナコトハ起ルトハ認メテ居リマセヌ、併ナガラ若シ
モサウ云フ虞レアリトシマスレバ、詰リ中央ノ方カ
ラ内務大臣大藏大臣ノ監督ノ下ニ、罹災救助基金デ
アリマス、其罹災救助基金ノ管理方法ニ付テハ
必要ガアレバ内務大臣ト大藏大臣カラシテ方法ヲ指
定スルコトガ出來ル、ト云フ法律ニモナッテ居リマ
ス、其手續ヲ以テサウ云フ自由ニ、中央政府ノ方策ト
納鑿相容レヌヤウナコトヲサセヌヤウニ命令スル途
モアツテ、少シモ御心配ノヤウナコトハナイ、其方法
マデ執ラヌデモ特ニ命令ヲシナクテモ出來得ルト認
メテ居リマスガ、併シ御話ノ如ク基金ト云フモノヲ、
之ニ流用スベキ基金モ多クナリ、又方策ガ彼是衝突
スルヤウナ虞ガアリトシマスルナラバ、只今申上ゲ
マス現行ノ基金法ノ條項ニ依リマシテ、命令スルコ
トガ出來ル、指定スルコトガ出來マスカラ、其邊ノ御
心配ハ無用デアルト思ヒマス

○上山滿之進君 監督命令ヲ發シテマデ強制ヲスル
ト云フ抑御考デアアルノデアリマスガ、ソレハ農商
務大臣ハ權限ガ無イヤウニ思ヒマスガ、法律ヲ調ベ
ストハッキリシマセヌガ、ドノ大臣カラ監督命令ヲ發
シテ、知事カラ議案ヲ出サセテ、其議案ノ原案執行マ
デヤッ付ケルト云フマデノ覺悟ガナケレバイカナイ
ト思フ、米ノ安イ場合、買フ場合ニハ割合ニ問題ハナ
イ、米ノ高イ場合、賣ル場合ハナカ……言フコトヲ聞

キハシナイ、若シ買ッテ持ッテ居レバソレヲ出サセル
ト云フコトハ大變ナ事デアル、何故ニサウ云フ混雜
シタコトヲナサルカ、中央デ二億ノ資金ヲ擁シテ食
糧政策ヲスレバ澤山デナイカ、ソレニ拘ラズ中央ト
離レテ或ル程度マデハ自分ノ自由ニ處置スルコト
ノ出來ル地方團體ヲシテ參加サセナケレバナラヌト
云フコトノ道理ガ私ニ分ラナイ、中央ダケデ計畫ヲ
立テレバ澤山デアル、一本デズットヤル方ガ最モ統一
ガ取レル、ソレヲ態々三府四十三縣ヲシテ、更ニ播廻
スト云フト語弊ガアルガ、此政策ノ效果ヲ多少デモ
薄カラシメ、混雜セシムルヤウナコトヲサセナケレ
バナラヌ道理ガ分ラヌ

○政府委員(田中隆三君) 御答申上デマスガ、御質
問ノ根本ノ趣旨ガ、地方ト中央ト區々ニ處置スルコ
トヲ御心配ニナルト云フ前提デアリマスカラ、其點
ハ御心配ニ及ビマセヌ、現ニ内務大臣大藏大臣ノ所
謂羅災救助基金ノ方法ヲ指定スルト云フ條項ニ依ッ
テ、サウ云フ區々ニナリ、衝突スルト云フコトヲ防グ
途ガアル、此方法ヲ實施セヌデモ區々ニナラヌト思
ヒマスガ、非常ニ御心配デアリマシテ、區々トナツタ
ラドウスルカト云フヤウナ御尋ネノヤウデアリマス
カラ、斯ウ云フ方法モアルト云フコトヲ申上ゲタノ
デアリマス、ソレカラ又之ヲセヌデモ中央ダケノ所
謂米穀法ダケガ宜イデナイカト云フコトハ、御議論
トシテ一應ノ理由ガアルコトト承ッテ居リマス、併ナ
ガラ米穀法ノ、ドコ迄モ政府ノ手ニ……例ヘバ地方
ナラ地方デ羅災救助基金ヲ以テ或ル程度ノ米穀ヲ收
容シヤウト云フノ、矢張り地方ニヤラレテ……ド
コ迄モ政府デ收容シナケレバナラヌト云フ意味ノ法
律デアリマセヌカラ、地方デ收容スル場合ガ起リマ
シテ、其部分ヲ差引イテ殘リヲ中央政府ニ於テ收容
スルト云フコトガ出來レバ、ソレデモ差支ナイコト
ト思フノデアリマス、別ニ基金法ノ改正ガアルガ爲
ニ、米穀法ノ實施ノ上ニ於テ何等差支ナイモノト認
メテ居ル譯デアリマス

○上山滿之進君 現在ノ儘デアッテ地方デ米ノ買ヘ
ナイト云フコトハ是ハ勿論ナイノデアリマスガ、ソ
レハ府縣制ガ他ノ規定ニ依ッテ行フコトデアッテ、別

トシテ置イテ、唯私ノ御尋ネスルノハ、新タニ食糧政
策ノ一部分トシテ斯ウ云フ羅災救助基金マデ改正シ
テ米ヲ買ハスト云フコトハ、ドウ云フコトカト云フ
コトヲ伺ウタノデアリマス、尙ホ現在ノ制度ノ範圍
ニ於テモ、食糧政策ノ目的ヲ以テ米ヲ買入レ、或ハ賣
出スト云フ事ハ、既ニ米穀法案ヲ通過シテ中央ニ其
制度ガ立ッタ以上ハ、地方ヲシテサスモノデナイト考
ヘル、是コソ内務大臣ノ監督權ニ依ッテ農商務大臣ト
打合セテ地方ニサセナイ、ソレヲスレバ最モ混亂セ
ヌト云フ途ヲ執ルノデ至當デアラウト思フ、是ハ現
在ノ制度ノ範圍ニ於テ、ソレニ持ッテ行ッテ態々ヤル
ト混雜スルト思ヒマス、混雜ノ疑ノアルヤウナモ
トヲ羅災救助基金ヲ改正ラシテ、食糧政策ノ一部分
ナリトシテ御提出ニナツタコトガ其意ヲ得ヌ、斯ウ云
フコトヲ思フノデアリマスカラ、ソレハドウ云フ譯
デアリマスルカト云フコトヲ伺ッテ、併シ大概ハモウ
御趣意ハ分リマシタカラ、此以上私ハ御質問ハ……

○男爵中川良長君 羅災救助基金ニ付テ私少シク了
解シニクイ所ガアリマスカラ、一應伺ヒマス、唯今上
山君ハ中央食糧政策ヲ中心トシテ、羅災救助基金ニ
御及ビニナリマシタガ、私ハ反對ニ羅災救助基金法
ヲ中心トシテ此食糧政策ニ考ヘ及ンダ所デ、甚ダ意
味ノ了解シニクイ所ガアル、此基金法ノ目的ハ此條
文ニアリマス如ク、府縣ノ全部、一部ノ非常ノ災害ニ
依ッテ苦シム所ノモノヲ救助スルト云フノデ、最モ明
瞭ニナツテ居リマス、茲ニハ急ノ災害ノアル場合ニハ
忽チソレニ向ケル所ノ資金ガナケレバナラヌト云フ
コトハ、是ハモウ非常ニ重大ナコトデアアル、然ルニ茲
ニ米ヲ買入レテ、米ニ固定シテ仕舞フト云フ時ニナツ
テ、府縣ニ非常ノ災害ノ起ツタ時ニハ直チニ此米ヲ處
分スルト云フデモ、價格ノ高ク買ツタ時モアル、安イ時
モアル、又急ニ賣レナイ場合モアラウ、サウ云フ時ニ
一面ニハ資金ガ地方ニ無イ時ニハ、法律ニ依ッテ尙ホ
所得稅、地租、營業稅ニ對シテ特別ノ課稅ヲシテモ宜
イト云フヤウナ特別法マデ規定ラシテアリマス、米
ヲ買入レテ資金ガ缺乏シテ居ルガ爲ニ、更ニサウ云
フ稅ヲ課サネバナラヌト云フヤウナ實情ガ起リハシ
ナイカト云フコトヲ懸念イタシマス、サウスレバ羅

災救助基金ト云フヤウナモノノ根柢ヲ覆スヤウニナ
リマス、其邊ハ如何ニ御解釋ニナツテ居リマスカ

○政府委員(田中隆三君) 御答申上デマスガ、羅災
救助基金ヲ全部、災害ノ場合ニ於テ動キノ付カヌヤ
ウニ、全部米ニ換ヘナケレバナラヌト云フヤウナコ
トハ少シモナイノデアリマス、殊ニ又御話ノ羅災、所
謂地方ニ非常ノ災害ノ起ツタ時ニ、金ガアツタ所デ米
ガナケレバ大騒動ガ起ル、同じ事デアアル、如何ナル場
合ニ於テ其運用方法ヲドウ云フ風ニスルカ、今日ハ
或ハ之ヲ公債ニスルトカ、或ハ貯金ニスルトカ、色々
方法ヲ指定シテアリマスカラ、ソレハ各々割合ニ應ジ
テ、又地方ノ狀況ニ應ジテ、ソレハ……基金ヲ運用シテ
行ク譯デアアル、ソコデ或地方、或場合ニ於テ、所謂災
害ノ準備トシテ米穀ヲ買入レテ置キタイト云フ事ニ
ナレバ其方法ニ依ッテ、其模様ニ依ッテ買入レルヤウ
ニスル、斯ウ云フ譯ニナルノデアリマス、丁度災害ノ
爲ニ現ニ其地方ノ米麥等ノ非常ナル騰貴ヲ來シタト
云フコトハ往々ニシテアル所デアリマス、サウ云フ
場合ニ於テ幸ヒ備荒儲蓄ノ倉ヲ開イテ、サウシテ變
動ノ起ラヌヤウニスルト云フコトハ災害ノ豫防ノ目
的ヲ達スルコトニ於テ尤モ必要ナコト、認メテ居リ
マス

○男爵中川良長君 一應今ノ御説明モ理由ノアルヤ
ウデゴザイマスガ、此地方ノ災害ニ依ッテ米ノ不足ヲ
シタ場合ニ、米ヲ貯ヘテ置ケバソレデ宜イト云フ御
話デゴザイマスガ、是レハ災害ハ必シモ米バカリガ
災害ノ目的物デハナカラカト思ヒマス、米ガバカリ
ガ地方ノ災害ノ主モナルモノデゴザイマスレバ、唯
今ノ御答辯ハ寔ニ的確ナコトデモアル様ニモ思ハレ
マス、種々ナル狀況ニ依ッテ、或ハ家ガ焼ケタ、米ハ澤
山倉ニ在ル……全部或ハ大部分ノ村ガ燒ケテ仕舞ツタ
ト云フ様ナ場合ニ於テ、米ハ村ニ澤山アツテモは何
等ノ效力ハナイ、寧ろ其建築其他ノ爲ニ基金ヲ要ス
ルノデアアル、此場合ニ米バカリ買入レタ時ニハ其資
金ト云フモノヲ何レニ仰グカト云ヘバ、法律ガ示ス
ガ如ク、苦シデ取ラレテ居ル地方稅ノ法規ニ、サウ
云フ場合ニハ一般ニ負擔シナケレバナラヌ、米ニ依ッ
テ負擔シナケレバナラヌヤウナ不自然ナル規定マデ

アル、ソレニ對シテ甚ダ不都合デアル、唯今ノ御答辯
デハ寔ニ了解ニ苦シムノデアリマス

○政府委員(田中隆三君) 御答申上ゲマスガ、私ノ
言葉ガ足りナカッタカ知レマセヌガ、サウ云フ意味デ
ナイノデアリマス、罹災救助基金ヲ皆米ニスルト云
フ意味デハ少シモナイノデアリマス、現ニ餘ッテ居ル
ナラバ殘ラズ米ヲ替ヘヤウト云フ意味デモナイ、或
基金ノ中ノ何部分ヲ米ニ替ヘルト云フコトニ付テ
ハ、其府縣ノ基本ノ財産狀態ニモ依リマセウシ、又或
場合ニ於テハ公債證書ノヤウナモノハ、米ガ非常ニ
安イカラ是ハ來年ニナルト高クナルカ知レヌカラ寧
ロ運用方法トシテ公債證書ヲ賣ッテ米ヲ買ッテ置ク
ガ宜イト云フ政策ヲ執ル府縣モナイトモ限ラヌト思
ヒマス、兎ニ角非常ナル御話ノヤウナ危險ナル狀態
ニ基金ノ使用ヲ改メテ意味デハナイ、必要ノ程度、事
情ニ應ジテモ宜イト云フ途ヲ開ク、先程來上山君ノ
御質問ニアッタ様ニ、何カ政府ノ方策トシテ成ルベク
基金ヲ米ノ方ニデモ買占メルト……矢張り米穀法案
ノヤウナ趣旨デ罹災救助基金ヲ成ベク米穀ノ方ニデ
モ變更セシムルト云フ方策ヲ執ルト云フ意味デアリ
マスルナラバ、サウ云フ御心配ノ起ルノモ勿論デア
リマセウガ、少シモサウ云フ意味ガナイ、之ヲ獎勵シ
テ基金ヲ米ノ方ニ轉換セヨトカ、ソレヲ獎勵スルト
カ、獎勵ルト云フ考ヘハ少シモゴザイマセヌ、自然其
成行ニ於テサウ云フ途ヲ開イテ置クト云フダケノコ
トデアリマスカラ、其點ハ御心配ノ必要ハナイト私
ハ認メマス

○男爵中川良長君 唯今ノ御説明ニ依リマス、此
米ノ調節ニ付テハ全ク關係ガナクシテ、唯罹災救助
基金ト此米穀法ト云フモノトハ絕對離レテ、救助基
金法ニ依ッテ米ヲ買入レルト云フ條項ヲ唯加ヘテ置
クト云フニ過ギナイヤウニ承ハリマス、若シサウシ
マス、其米穀ハ何ガ爲ニ使フノデアアル、給與品ニ使
ハレルト思ヒマス、然ラバ此第十七條ノ第二項ニハ
「豫メ給與品ヲ買入レルコト」云フ此條項ガ既ニア
ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ敢テ給與マス
ル爲ニ御買入レニナルト云フ唯今ノ御説明デアリマ
スレバ、特ニ米穀ヲ買入レルコト云フ條項ヲ御加

ヘナクトモ、地方長官ガ是ガ唯今ノ何カ米ヲ買ッテ置
イテ將來不慮ノ災ノ時ニ米ヲ與ヘルト云フ事ニシタ
方ガ便利デアラウ、又債券ヲ賣ッテ今米ヲ買ッテ置ク
方ガ宜カラウト云フ自由裁量デヤレルコトデアルト
スレバ、此第十七條第二項ニ「豫メ給與品ヲ買入レル
コト」云フ規定ガアルカラ、此給與品ノ中ニ米モ入
レテモナットモ差支ナイ、敢テ此米穀法案ト聯絡ガナ
イト云フコトデアッテ、隨意ニ地方長官ガ買入レルヤ
ウナ途ヲ唯加ヘタニ過ギナイト云フ御説明デゴザイ
マスルナラバ、敢テ條項ヲ更ニ加ヘル必要ガ全然ナ
イト考ヘマス

○政府委員(田中隆三君) 御答へ申上ゲマスガ、此
第十七條ノ第二項ニアリマス、豫メ給與品ヲ買入ル
ルコトト云フコトハ、是ハ所謂些細ナル給與品ノコ
トデアラウト私共解釋シテ居リマス、相當ナ價額ノ
米穀ヲ買入レルト云フヤウナ意味ニハ少シ是ハ適用
シ兼ネルト思ヒマスガ、假ニ此解釋ハ米穀ヲ買入
レルモノト致シマシテモ、先刻私ノ説明中ニ申上ゲ
タト思ヒマシタガ、必シモ給與ト云フ目的ノミヲ以
テ基金ノ運用ヲスルノガ趣旨デハナイノデアリマ
ス、公債證書トシテ保管シテ置クヨリハ、其模様ニ依
テ之ヲ米穀ニ替ヘテ、他日給與ノ必要ノナイ時ニシ
テ賣リマシテ、サウシテ所謂基金ノ増殖ヲ圖ルト
云フコトモシ得ル譯ニナルノデゴザイマス、給與ト
云フノハ初メカラ給與ノミノ目的ヲ以テスル給與ト
思ヒマス、給與ノミノ目的ヲ以テセンデモ、所謂基金
ヲ運用スル趣旨ヲ以テ、米穀モ買入レテモ宜イト云
フヤウナコトヲ致シマスル爲ニ、ドウシテモ此改正
ハ必要ダト思ヒマス

○男爵中川良長君 然ラバ此米穀ヲ買入レルト云フ
コトハ基金運用ノ爲ニ御ヤリニナル、斯ウ解釋シテ
然ルベキモノデアリマスガ
○政府委員(田中隆三君) 御答へ申シマスルガ、大
體サウダラウト思ヒマス
○男爵中川良長君 大體ト云フヤウナ……
○政府委員(田中隆三君) 尙ホ御答へ致シマスガ、
給與ノ爲ニ米穀ヲ買入レル事モアルト思ヒマス、如
何ナル場合ニ於テモ米穀ヲ買入レレバ運用ト云フ意

味デナイ、此度改正シタ趣旨ハ運用ノ爲ニ買入レル
コトヲ得ル道ヲ開イタノデ、或ル場合ニハ米ヲ買ッ
ト云フトキニ何デモ運用カト云フトサウデナイ、初
メヨリ斯ウ云フ意味ヲ以テ大體ト云フコトヲ御答シ
タノデアリマス

○男爵中川良長君 唯今ノ御答辯ニ依リマシテ上山
君ニ對スル御答辯ヲ照應イタシマス、一層分ラヌ
ヤウナコトガ出來テ參リマス、唯今之ヲ運用スル爲
ニ此米ヲ買入レルト仰セラレマシタガ、上山君ノ質
問ニ對シテハ、地方ニテ基金デ買入レタ差額ダケ中
央ニシテ買フト、斯ウ云フ御答辯ガアリマシタ、サウ
スルト中央ノ米穀法ト此基金法トハ非常ニ深イ連絡
ガアルヤウニ今マデ私ハ伺ッテ居ッタノデアリマス、
唯今ノ御話デハ、單ニ此米穀ヲ買入レルト云フ事ハ、
基金運用ノ方策トシテ入レタノデアアル、サウ致シマ
ス、茲デ私ハ何レヲ信ジテ宜シイノデアアルカ、ソレ
ヲ更ニ御答辯ヲ願ハナイト苦シミマス

○政府委員(田中隆三君) 御答へ申上ゲマスガ差額
ニテ買入レルト云フコトハ、私申上ゲヌ積リデアリ
マスガドウ云フコトデゴザイマセウカ

○男爵中川良長君 ソレハ更ニ申上ゲマス、地方ノ
基金ニテ買入レタ差額ダケヲ中央ニテ買フ、例ヘバ中
央ニテ三百万石買フトスルナラバ地方ノ基金デ買入
レタ石數ノ其差ダケヲ中央ニ於テ貯ヘルト云フ方法
ヲヤル、斯ウ云フ御答辯デアリマシタ

○政府委員(田中隆三君) 御答致シマスガ、ソレハ
其上山君ノ御尋ガ地方デモ買ヒ中央デモ買ッテ彼是
レ衝突スルヤウナコトガアリ得ルデヤナイカト云フ
其點ニ付テ御心配ガアッタヤウデアリマスカラ、既ニ
地方ニ於テ罹災救助基金ヲ以テ或ル數量ノモノヲ買
入レタト云フコトデアレバ中央デ以テ其數量ダケハ
買ハヌデモ濟ムコトモアル、此法律ノ改正ノ結果サ
ウ云フ副作用モアルト云フコトヲ申上ゲタノデアリ
マス、何等抵觸スルコトハナイト思ヒマス

○男爵中川良長君 然ラバ地方ニテ基金デ買ッタ差
ダケヲ中央ニ持ッテ居ルト云フコトヲ前提ト致シマ
シテ地方ニ於テ急ニ其資金ノ入用ナ場合ニ此米ヲ賣
出スト云フ必要ガ生ジタラ忽チ中央政策ト云フモノ

ハ破壊サレル、米ハアツテモ賣ラヌト云フ此時機ニ地方モ矢張り其政策ニ這入ツテ居ル、然ルニ今不慮ノ災害ノ爲ニ米ハ直グ賣出サナケレバナラヌ、必要デアルト云フ場合ニ於テハ直ニ中央政策ノ根本ガ破壊サレルト云フコトニ結局ナリマス

○政府委員(田中隆三君) ソレハ先程御答致シマシタ通りニ其國務大臣ノ方カラデスナ、監督ガアリマスカラ、サウ云フ地方長官ガ中央ノ政策ニ抵觸シタ政策ヲ動かサウナコトヲサセルト云フコトハ監督ノ作用デ以テ監督シテ行クコトガ出來マセウ、其點ハ御心配ハ要ルマイ、斯ウ申上ゲテ置キマシタ、テンデンマチ、ニ其地方ハ地方デ單獨行動ヲ取り、中央ハ中央デ單獨行動ヲ取ルコトニナツテ彼是レ方針ニ齟齬ヲ來サウナコトハ致サセヌ積リデアリマス、ソレハ監督權迄モ實行シナクテモ出來ルト思ヒマスケレドモ、サウ云フ憂ガアル、心配ガアルト云フ場合ニハ所謂法律ノ命ズル監督權ノ作用デモ是ハ取締ガ出來マス、斯ウ云フ御答ヲスルヨリ致方ハゴザイマセヌ

○政府委員(岡本英太郎君) 私カラモ、質問ハ盡キテ居ルヤウデスケレドモ、一言申添ヘテ置キタイト思ヒマス、此食糧政策トシテ米穀法案ヲ出シマスニ付キマシテハ私共ハ斯ウ考ヘテ居ル、政府ノ力ノミデ此大問題ハ解決ハ甚ダ困難デアル、ソレデ之ヲ推擴メテ申シマスレバ全國ノ生産者又消費者側ノ協力ヲ得ナケレバナラヌ、尙ホ具體的ニ申シマスレバ、地方ノ大地主等ナドモ此食糧政策ト相共鳴シテ相當ナ連絡モ取り相當ナ施設モ必要ナコトデアラウ、隨ツテ中央デアル丈ケデハドウモ其隅、迄行渡ラヌト云フコトハ是ハ有ル勝チデアリマス、況ンヤ財力ニモ限リガアリマスカラシテ、ドウカシテ此國民全體ノ力デ出來ル丈ケ生産ヲ進メテ行キタイ、ソレニ付キマシテハ現ニ今日罹災救助基金ノ一部ハ給與品ノ購入モ出來ルノデアリマス、是モ推廣メテ 釋致シマスレバ米ヲ買ツテモ宜シイ、給與スル目的ナラバ宜シイ目的ガ給與品デアリマスカラシテ非常ニ狭クナル、ソレヲ一步進ンデ必ズシモ、ソレハ現品給與ヲシナルクテモ利用ヲシテ賣ルコトモ出來ルト云フ即チ資金

運用ノ道ヲ一步擴メテ置キマシテ、サウシテ地方的ニ必要ナ場合ガ起ルコトガアラウト存ジマス、往年ノ東北ノ饑饉、デハアリマセヌ、凶作ノヤウナ場合ニ於キマシテモ又米價騰貴ノ際ニ於キマシテモ、ドウモ中央ダケデハ徹底的ニイカヌ、サウ云フ場合ニ地方ガ其事情ニ依リマシテ、交通ノ便アリト雖モ、尙ホ不便ナ所モゴザイマスカラ、サウ云フ道ヲ開イテサウシテ此政策ヲ全クシテ行キタイ、ソレニ付キマシテハ上山君ノ御心配ハ御尤モデアリマス、之ヲ全國一樣ニ米ヲ買フヤウニナリマシタラ尙ホ中央ノ施設ト扞格スル、隨ツテ本來ノ廣イ意味ニ於テ目的ヲ達セラレヌ場合ガ起ラヌトモ限リマセヌ、ソレデアリマスカラ此所ハ運用ノ上ニ於キマシテ此問題ハ内閣ニ於テ實際統轄サレル譯デアリマス、農商務大臣ハ直接此法案ノ主管大臣デゴザイマセヌデモ、内務大臣大藏大臣ト協議ヲサレバ適當ニ餘リ扞格スルコトノナイヤウニ出來ル、ソレデ是ハ一ツノ補助作用ト申シマス、此政策ト云フモノハ成ルベク國民全體ノ支障ノナイ限リニ於テ協力ヲ得タイ、ソレハ今日ハ給與品デ米ヲ買ツテ宜シイ、ソレヲ一步進メテサウ云フ道ヲ開イテ置クコト云フコトハ餘程副作用トシテ宜イ結果ヲ得ルコトガ多イト考ヘマス、ソレデ提案ニナツタノデゴザイマス

○男爵中川良長君 先程次官ノ御話デ地方ニテ基金ニテ買入レタ差額ハ中央ニテ買フコトモアル、若シ地方ニテ賣出シテ中央政策ヲ誤マルヤウナコトガアレバ、ソレハ此罹災基金ノ法律ニ依ツテ其運用ヲ左右シテ勵行スル、ソレ故ニ敢テ中央政策ヲ誤マルノ恐レハナイ、斯ウ云フ御答辯デゴザイマシタ、是ハ一應御尤モノヤウデアリマスガ、此罹災救助基金ノ根本ノ精神ニ立返ツテ見マスルト、此法律ハ罹災ヲ救助スル目的デアリマシテ、此目的ノ基金ヲ需給調節ノ目的ニ依ツタル所ノ米穀法ニ依ル買入ニ使用スルト云フコトハ其資金ノ運用ニ於テ不當ナコトデアツテ、實ニ理窟ノ立タヌ所ノ事デアルト私ハ思フ、罹災救助基金ト云フモノハ性質ガ全然是レハ別ノモノデアナル、罹災ガアツテ始メテ此基金ヲ運用スベキモノデアナル、其基金ヲ米穀法ノ調節ニ依ル所ノ方策ニ此基金ヲ利用スルト云フコトハ是ハ甚ダ不當ナルコトデア

ル、根本ニ付テ誤マツテ居ル方策デアルト云フ觀念ヲ取去ルニ何等ノ理由ヲ發見シマセヌ、ソレニ付テノ的確ナル御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(小野義一君) 罹災救助基金ノ設置ノ目的ハ今御話ノ通りニ非常災害ノ場合ニ備ヘルト云フコトデアリマスルガ、併シ實際ニ於テ餘裕金ガアリマシタ時ニハ之ヲ死藏セシメルト云フ事ハ頗ル愚ナ話デアルト思フ、成ルタケ基金ノ死藏ヲ避クルガ爲ニ適當ノ方法ヲ以テ運用セシメルト云フコトハ、是ハ基金ヲ増殖セシメル上カラ申シテ頗ル妥當ノコトデアリマス、ソレデアリマスカラ現行法ニ於キマシテ國債ニ投資スルカ或ハ特殊銀行ニ預ケルカ或ハ大藏省預金ニ入レルカ云フ様ナ方法ヲ設ケテアリマスノハ、是ハ斯ウ云フ基金ヲ死藏セシメナイ運用セシメル方法デアリマス、ソレデアリマスカラ之ヲ運用スルト云フ動機ハ、穀類ノ需給調節ニアリマシテモナクテモ其ノ點ハ何等差支ナイ、唯基金ノ運用方法トシテ之レヲ一ツ捉ヘルト云フコトハ何等基金運用方法トシテ差支ナイコトダラウト思ヒマス

○上山滿之進君 チョット伺ヒマスガ、先刻農商務次官ノ御説明ニ依リマス、本案提出ノ主タル理由ハ理金ノ運用ニアルト云フコトデ、大藏省ハ如何カト思ツテ伺ハウト思ウテ居リマシタガ、今大藏省政府委員カラノ御説明デ矢張り同様ノ御説明ガアリマシタサウスルト資金ノ運用ハ米ノ買入ヲスルコトガ改正ノ目的デアル、斯ウ云フ資金ノ運用ト云フ事ハ私ノ理解スル所ニ依レバ利殖スルコトデアル、利殖スル目的ノ爲メニ、蟲ガ附イタリ腐ツタリ、價格ガ上ガッタリ下ツタリスルモノヲ、ナゼ御買ヒニナルカ、此ノ位危険ナ資金運用ハナイト思ヒマス、ソレハ預金部デモ何處デモ預ケテ御置キニナルノガ確實ナル方法デアル、又地方ノ金ヲ鑄造ノ利ヲ爭ウテ相場ミタヤウナコトヲスルノハイケナイト云フコトハ申スマデモナイ、米ト云フモノヲ買ツテ貯ヘルコトハ最モ危険ナル資金運用方法デアル、然カク危険ナル運用方法ヲ何故御執リニナルノデアリマス、

之ヲ伺ヒタイ

○政府委員(小野義一君) 此運用ト云フコトト需給調節ト云フ事ガ非常ニコソガラカテ居リマスガ、私共ハ斯ウ解釋ヲシテ居リマス、需給調節ノ動機ニ依ッテ運用ヲ一方法トシテ十七條ノ規定ヲ入レル、斯ウ云フ意味デアリマス、私ハ運用ノ點カラ云ヘバ其動機ハ何レニアツテモ法ニ抵觸スルコトハナイ、例ヘバ今回ノ改正ノ動機ハ運用ニアル、運用ト云フコトハ一方法デアアル

○上山滿之進君 我々ハ法律ノ直接ノ目的ハ宜シイ、其奥ニドウ云フ理由ガアルトモ、是ハ別問題デアアル、直接ノ目的ガ資金ノ運用ト云フコトデアレバ、ナゼ斯ノ如キモノヲ選ブカ、動機ハ問フ必要ハナイ、直接ノ目的ハ何デアルカ、若シモ動機ヲ云ヘバ其奥ノ動機モアル、之ヲ聞カナケレバナラス、ソレデハ際限ガナイ話デアアル

○政府委員(小野義一君) サウスルト上山サンノ御議論ハ、結局不確實ダト云フ事ノヤウデアリマス、政府ハサウ見テ居ラス、或ルホド米ニ付テハ上ガリ下ガリガアル、併ナガラ結局ニ於テ先ヅ損得平均スルモノデアアル、ソレデアリマスレバコソ初メテ此特別會計ナドト云フモノモ案出シ得ルノデアアル、全ク冒險的……「スベキレーション」的ノモノデアレバ其點ハ考慮スベキ問題デアアル、一時困難ハアツテモ來年賣レルカ、賣レルトキ或ハ下ガルコトモアリマスガ、併シ三年ナリ四年ナリ久シキ歲月ヲ經ル間ニハ賣レル、大體ノ上ニ損益平均スル、損失ハ避ケ得ルモノデアリマスカラ必シモ不確實ダトハ考ヘテ居ラスノデアリマス

○上山滿之進君 中央デ米穀法案ヲ御提出ニナリ、又此常平制度ヲ確立スル、是ハ万已ムヲ得ザル必要ガアルカラ、多少「スベキレーション」ガアツテモ宜シイノデアアル、地方デ何ヲ苦シンデサウ云フ事ヲスルノデアアルカ、資金運用ノ爲ト仰セラレバ、資金運用ノ爲ニナゼ危險ノモノヲ御選ビニナルカ、危險ハナイト云フ風ニ仰セラレマスガ、此位危險ナモノハナイ、第一上ガリ下ガリガアリマスシ、鼠モ喰フシ、蟲モ附ク、ソレカラ梅雨ヲ越シマスト米ハ腐リガ來ル、

微菌ガ附クノデ此位危險ナモノハナイと思ヒマス、サウ云ウヤウニ米ハ直段ノ上ガリ下ガリガアリ、品質モ分量モ減ズル性質ノモノデアアル、ソレニ持ッテ行ッテ投資スルト云フコトハ此位不確實ナ投資ハ世ノ中ニナイト思フ、御趣意ハ分リマセスガ、私ハサウ思ヒマス

○政府委員(小野義一君) 御趣旨ハ能ク分リマシタガ、要スルニ需給調節ハ大目的ト云ヒマスカ、原因ト云ヒマスカ、動機ト云ヒマスカ、ソレヲ眼中ニ置キマストサウ云ウコトヲシナイデ宜イ、併シ需給調節ノ目的ヲ兼ネ、基金運用ノ一方法トスル、斯ウ云フコトデアリマスカラ……

○上山滿之進君 サウ云フ御説明ハ甚ダ困ル、何ガ目的デアルト云フ事ヲ初カラ伺ッテ居ルノデアリマス、サウ云フ御説明ハ迷惑デ、需給調節ガ御目的ナラバ御目的デ、其方デ質問シテ居ル、其方デ御答辯下サレバ宜イ、其方ノ御答辯ガ苦シクナルト資金運用ノ理由ヲ御持出シニナル、政府ノ趣意ヲ能ク伺ハナケレバ理解ニ苦シマス、需給調節ト云フ事デアッタカラ、私ハ何故ニ需給調節ニ付テ斯ウ云フ事ヲナサルカ、斯ウ云フコトヲナサレバ餘程混亂ヲ來ス、政府ノ所期ノ通り進メバ混亂ヲ來ス、又混亂ヲ來タサナイヤウナモノデハ何モ役ニ立タナイ、ソナナ危イコトヲシナクテモ宜イ、私ハ満足ノ答辯ヲ得ナカッタガ、是デ私ハ措キマス

○男爵中川良長君 私モ今ノ異ル目的ニ向ッテ資金ヲ運用スルト云フコトニ付テ何等了解スル御答辯ヲ得マセスガ、農商務次官ハ何カ御名案ガアレバ伺ヒタイ

○政府委員(田中隆三君) 御答イタシマス、是ハ要スルニ其米ノ買入レヲスルト云時ガ米ガ餘ッテ價格ガ非常ニ下ガッタ場合ノ出來事デアアルノデアリマスカラ、其買入レニ依ッテ利得ヲ見ルトモ損失ヲスルコトハナイト云フ前提ノ下ニ出來テ居ルノデアリマス、ソレハ事實上ノ問題デ、サウ云フコトガ前提デアラカラ運用方法トシテ差支ナイ、又固ヨリ副作用トシテ先程申シマシタ通り僅カノ給與品ハ之ニ依ッテ買ッテ行クコトハアリマスケレドモ、買ッテ居リマス

ル所ノ給與品デ足りナイ所ノ、ソレ以上ノ給與ヲ要スル場合ノ充當ニモナリ得ル、災害ノ場合ニ於テ極メテ必要ナルモノデアアルカラシテ、斯ウ云フ途ヲ執ッテ置クガ宜カラウ、斯ウ云フ譯、併ナガラ再々繰返シテ申上ゲマス通り、此改正ト共ニ基金ヲ之ニ充當スルコトヲ勸メルト云フ意味ハ少シモナイノデアリマス、決シテ所謂米穀法ノヤウナ意味合ヒノモノデナイト云フコトダケハ御承知ヲ願ッテ置キマス

(速記中止)

○委員長(伯爵奧平昌恭君) 速記ヲ始メマス、各委員ヨリ各自ノ間ニ於キマシテ……第二條ニ對シマシテ「政府ハ米穀ノ需給ヲ調節スル爲特ニ必要アリト認ムル時ハ左ノ事項ヲ爲ス事ヲ得」ト、ソレカラ一トシテ「勅令ヲ以テ期間ヲ指定シ米穀ノ輸入税ヲ増減若クハ免除シ又ハ其ノ輸入或ハ輸出ヲ制限スルコトヲ得、ソレヲ一トシテソレカラ……」外國米ノ輸入若クハ輸出ヲ督勵シ又管理スルト云フコト、是ハ新ニ設ケルノデアリマス、第三條ニ於キマシテハ政府ハ帝國内ニ於テ第一條ノ規定ニ依リ、之ヲ決シテ米穀ノ買入及賣渡ハ特價ヲ以テ爲スベカラズト修正サル、意見ト、第三條ノ第一條ノ規定ノ中規定ニ依リ米穀ノ買入ハ競争入札ノ契約ニ依ルベシ、此二ツノ意見ガ出マシテ、先程來折角委員ノ間ニ於キマシテ意見ノ交換モシ且又政府委員ニ對シマシテ意見ヲ聽取リマシタノデアリマスガ、多數ノ者ガ意見ヲ聽取ルノハ誠ニ不便デアルト云フコトノ點ニ於キマシテ、藤村男爵ノ動議ガゴザイマシテ、小委員ニ託シ、其小委員ノ氏名ハ委員長ニ一任スルト云フ此動議ガ成立ッテ、茲ニ小委員會ヲ設クルコトニ致シマシタ、尙ホ且藤村君ノ動議ノ中ニ委員ノ氏名ハ私ニ一任スルト云フコトデアリマスカラ讀上ゲマス、横山君、郷男爵、若槻君、谷森君、橋本君、上山君、此六名ノ方々指名イタシマシタ、此六名ノ御方々ハ何卒明二十四日正午マデノ間ニ此修正意見ニ對シマシテ議ヲ御纏メニナルコトヲ望ムノデアリマス、且又政府ニ對シテモ意見ノ交換ヲ重ネマシテ極端ニ無理ナラ

又範圍内ニ於テ御審議ヲ願ヒタイト云フ事ヲ重ネテ
申シテ置ク次第ゴザイマス、今日ハ是デ散會イタ
シマス、明日ハ委員會ヲ開クノミニ止メマス：：ソ
レデハ此委員會ハ午後一時ヨリ開クコトニ致シマス
午後三時四十五分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵奥平 昌恭君
副委員長 男爵藤村 義朗君
委員

政府委員

子爵牧野 忠篤君	子爵榎本 武憲君	子爵戸澤 正巳君	岡田 良平君	上山 滿之進君	男爵楠本 正敏君	男爵郷 誠之助君	男爵中川 良長君	谷森 眞男君	若槻 禮次郎君	橋本 圭三郎君	津村 紀陵君	横山 章君	大藏次官 神野 勝之助君	大藏省理財局長 小野 義一君	農商務次官 田中 隆三君	農商務省農務局長 岡本 英太郎君
----------	----------	----------	--------	---------	----------	----------	----------	--------	---------	---------	--------	-------	--------------	----------------	--------------	------------------

大正十年四月十五日印刷

大正十年四月十六日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局